令和2年度炭鉄港推進協議会収支決算報告について

資料3

【収入の部】

（単位：円）

項目	予算額	決算額	増減	備考
負担金	2,400,000	2,400,000	－	
各市町負担金	1,200,000	1,200,000	－	10万円×12市町
振興局負担金	1,200,000	1,200,000	－	
補助金	21,000,000	21,000,000	－	
文化芸術振興費補助金 （地域文化財総合活用推進事業）	17,000,000	17,000,000	－	
文化資源活用事業費補助金 （観光拠点整備事業）	4,000,000	4,000,000	－	
繰越金	1,463,306	1,463,306	－	
令和元年度文化芸術振興費補助金不用額	1,413,000	1,413,000	－	R元年度補助金不用額。文化庁に返金。
令和元年度負担金繰越金	50,306	50,306	－	
収入の部合計	24,863,306	24,863,306	－	

【支出の部】

（単位：円）

項目	予算額	決算額	増減	備考
事業予算	22,680,000	22,674,340	△ 5,660	
ガイド養成	3,500,000	3,499,760	△ 240	
普及啓発	6,000,000	6,000,060	60	
調査研究・コンテンツ制作	13,180,000	13,174,520	△ 5,480	
負担金	20,000	20,660	660	
日本遺産連盟負担金	20,000	20,660	660	振込手数料660円を含む
事務費	2,163,306	616,549	△ 1,546,757	
文化庁主催事業参加旅費	600,000	536,120	△ 63,880	地域文化財総合活用推進事業
その他旅費	70,000	0	△ 70,000	文化庁ヒアリング等（補助対象外）
消耗品費	40,000	6,549	△ 33,451	
通信料・手数料等	40,000	73,880	33,880	日本遺産エクスカーション参加費10,660円 日本遺産懇親会参加費:12,440円 日本遺産資材送料:24,040円 契約に係る印紙代：25,000円 資材レンタル料：1,740円
予備費	306	0	△ 306	
令和元年度文化芸術振興費補助金に係る返還金	1,413,000	0	△ 1,413,000	R元年度文化芸術振興費補助金に係る返還金。文化庁からの補助金返還決定通知が未着のため、令和３年度に繰り越し。
繰越金	0	1,551,757	1,551,757	
令和元年度文化芸術振興費補助金に係る返還金	0	1,413,000	1,413,000	R1年度文化芸術振興費補助金に係る返還金。R3年度中に返金。
令和２年度文化芸術振興費補助金に係る返還金	0	101,571	101,571	R2年度文化芸術振興費補助金に係る返還金。R3年度中に返金。
繰越金	0	37,186	37,186	負担金の残額を令和3年度繰越金とする。
支出の部合計	24,863,306	24,863,306	0	

監　査　報　告

炭鉄港推進協議会令和２年度収支決算について、監査したところ、いずれも的確に処理され、また、適正に執行されていることを認める。

令和３年（２０２１年）４月１３日

炭鉄港推進協議会

会　長　　荻原　貢　　様

炭鉄港推進協議会

監　事　　美唄市長　　板東　知文

監　査　報　告

炭鉄港推進協議会令和２年度収支決算について、監査したところ、いずれも的確に処理され、また、適正に執行されていることを認める。

令和３年（２０２１年）４月１３日

炭鉄港推進協議会
　会　長　　荻原　貢　　様

炭鉄港推進協議会

監　事　　三笠市長　　西城　賢策

資料４

令和３年度事業計画について（道単費事業）

総額：4,100千円

○ 普及啓発事業【予算額：3,400千円】

・ JR北海道主催イベント「ヘルシーウォーキング」との連携による周遊キャンペーンの実施
・鹿児島県との相互交流の実施

○ 炭鉄港土産品を活用した情報発信資材制作事業【要望額：380千円】

・ Ｒ２年度委託で三笠高校生が開発した炭鉄港土産の販売促進及び販売に伴う情報発信資材の製作

○ その他経費【事業費：320千円】

・ 炭鉄港関連地域でのイベントに係るプロモーション等

事業名	普及啓発事業
予算額	3,400千円

【目　　的】
　ＪＲ北海道主催イベント「ＪＲヘルシーウォーキング2021」と連携した周遊キャンペーン及び炭鉄港の端緒となった鹿児島県の相互交流事業を実施し、道内外の交流人口の拡大及び炭鉄港を伝承する人材の育成を図る。

【事業内容】
◇JR北海道主催イベント「JRヘルシーウォーキング2021」と連携した周遊キャンペーン
・「炭鉄港の鉄道史」をテーマとした記念品の製作
・記念品の応募受付け及び発送
◇鹿児島県との相互交流
・鹿児島県で現地研修及び交流会の実施（北海道：炭鉄港関連地域から児童２名引率者１名を派遣）
・帰道後、参加児童の学校において発表会開催
・現地研修及び交流会、発表会の様子を撮影編集した短編動画の製作
※新型コロナウイルス感染症の影響により上記内容が実施困難となった場合は、事業内容変更する。

事業名	炭鉄港土産品を活用した情報発信資材制作事業
予算額	380千円

【目　　的】
　令和２年度委託事業（道費）として三笠高校生との協力により開発した炭鉄港土産品の販売を通じ炭鉄港の普及促進を図るため、販売店舗等で活用する情報発信資材を製作する。

【事業内容】
・土産品販売店舗等に設置するポップ等の製作

事業名	その他経費
予算額	320千円

【目　　的】
　炭鉄港関連イベント等においてプロモーションを実施することにより、炭鉄港の認知度向上及び関係地域への誘客促進を図る。

【事業内容】
・ノベルティの購入
・情報発信資材の製作及び発送
・会場借上げ等

資料５

令和３年度事業計画（案）について（協議会事業）

総額：16,250千円

文化庁補助事業（100%補助）【内示額：11,000千円】

○ **ガイド養成事業**（継続）【要望額：2,000千円】

・ 階層別、テーマ別のガイド講座の開催
・ 地域間ガイド交流・視察事業の開催
・ 認定証、共通アパレル等の制作

○ **地域を思ふヒトづくり事業**（新規）【要望額：300千円】

・ 実務者向け事例発表会・意見交換会等の開催

○ **次世代伝承事業**（継続）【要望額：800千円】

・ 教職員向け研修ツアー、地域交流会等の開催
・ 出前講座の開催

○ **「地域のお宝」活用促進事業**（新規）【事業費：2,800千円】

・ 各地域のイベントと連携した、「炭鉄港月間」の開催

○ **ツアー・コンテンツ造成事業**（新規）【事業費：4,000千円】

・ チャーター便による北海道⇔鹿児島のモニターツアー実施
・ 道内客向け旅行コンテンツの造成

○ **日本遺産相互連携事業**（新規）【事業費：780千円】

・ 道内外の他の日本遺産との連携による情報発信
・ 日本遺産フェスティバルへの参加

○ **その他経費**【事業費：320千円】

・ 道内外の他の日本遺産との連携による情報発信

文化庁補助事業（65%補助）【内示額：5,000千円】（うち文化庁補助金：3,250千円）

○**ポータルサイト構築事業**（新規）【事業費：3,500千円】

・ 情報をワンストップで得られるWEBサイトの構築

○**小樽を拠点とした情報発信事業**（新規）【事業費：1,500千円】

・ 小樽を訪れる観光客向けに、観光物産プラザ等に炭鉄港コーナーを設置

協議会事業【250千円】

○**炭鉄港カードキャンペーン事業**（継続）【事業費：250千円※協議会単費】

・ 第２弾炭鉄港カード配布に伴うキャンペーン実施

事業名	ガイド養成事業
要望額	2,000千円（うち文化庁補助金：2,000千円）

【目　　的】
　令和元年度から続くガイド養成事業の三か年目として、ガイド向け講座や地域間交流事業に加え、令和２年度に集約した「ガイド登録名簿」の情報を元にガイド人材の階層化と活用を進めることで、炭鉄港の魅力を伝える人材を養成する。

【事業内容】
・階層別、テーマ別（接遇、リスクマネジメント等）講座の開催（３回）
・地域間ガイド交流・視察事業（R2は三笠開催）実施（１回）
　※参加者から費用徴収してR4以降の自走化を検証
・モニターツアーや出前講座等での実践体験
・総合サイトでの人材紹介と活用システムの構築
・認定証の作成
・共通アパレルの作成（販売）

事業名	地域を思ふヒトづくり事業
要望額	300千円（うち文化庁補助金：300千円）

【目　　的】
　炭鉄港に関わる行政・団体等関係者向けの事例発表会や視察会等を開催し、日本遺産を活用した地域づくりの手法等を学ぶ機会を設ける。

【事業内容】
・構成文化財の保全・活用に関する事例・研究発表会の開催
・実務者意見交換会の実施

事業名	次世代伝承事業
要望額	800千円（うち文化庁補助金：800千円）

【目　　的】
　教職員向け現地研修ツアーや令和元年度に空知総合振興局事業として空知管内で実施していた「出前講座」の広域実施により、次代を担う人材の育成を図る。

【事業内容】
・教職員向けプログラムの実施（研修ツアー、成果発表会）（１回）
・出前講座（たたら製鉄、石炭ストーブの実演等）の実施（３回）

事業名	「地域のお宝」活用促進事業
要望額	2,800千円（うち文化庁補助金：2,800千円）

【目　　的】
炭鉄港という地域の「お宝」を活用した普及啓発イベントの開催を通じ、交流・関係人口を創出。

【事業内容】
・各構成市町が企画する地域の独自イベント（それぞれの地域の特性や強みを活かした普及促進イベント）
・実施を希望する市町は実施計画を策定し、開催に向けて事務局と調整。

〈例〉　・既存のイベントや、地元企業・商店街等とのタイアップイベント
・特別パネル展
・「炭鉄港月間」特別プレゼンツ（図書館特別展示、「炭鉄港の証言」上映会、特別フォーラムの開催、市民コンテスト開催（絵画コンテストやフォトコン））
・鉄道ファン向けプロモーション（鉄道雑誌への広告記事掲載等）

事業名	ツアー・コンテンツ造成事業
要望額	4,000千円（うち文化庁補助金：4,000千円）

【目　　的】
商品化を意識したコンテンツ造成及びモニターツアーの催行により、R4年度以降の商品化に繋げる。

【事業内容】
・チャーター便による北海道⇔鹿児島のモニターツアー（R2から繰越）
・道内客向けコンテンツ造成及びモニターツアー
・サイト掲載用の周遊モデルコースの企画

事業名	日本遺産相互連携事業
要望額	780千円（うち文化庁補助金：780千円）

【目　　的】
関連する日本遺産と相互の情報発信や視察等に取り組み、認知度向上や相互送客を図る。

【事業内容】
・相互の情報発信や、パネル展等の実施
・連携対象の候補は、道内の日本遺産（エリアが共通する北前船等）や、テーマが共通する産業遺産（鎮守府や銀の馬車道等）

事業名	ポータルサイト構築事業
要望額	3,500千円（うち文化庁補助金：2,275千円）

【目　　的】
炭鉄港に関連する情報をワンストップで得られるサイトを構築し、構成団体が運営していくことにより、効果的な情報発信やファン獲得を図る。

【事業内容】
・CMS導入により各構成員が新着情報を更新できるようにし、常時最新ニュースを発信
（各エリアで独自に開催するイベント情報も発信する）
・ツアーの紹介、公開可能なガイド人材の紹介、出前講座の受付
・モデルコース、観光情報、飲食店情報（R2食文化事業からの発展）等の掲載

事業名	小樽を拠点とした情報発信事業
要望額	1,500千円（うち文化庁補助金：975千円）

【目　　的】
観光都市「小樽」を訪れる観光客に対し炭鉄港の情報発信を行うことで、次の訪問先として炭鉄港エリアを選んでもらえるようPRする。

【事業内容】
・小樽市観光物産プラザ等の施設に炭鉄港コーナーを設置
（タッチパネル式モニターをリース活用）

事業名	その他の経費
要望額	320千円（うち文化庁補助金：320千円）

【目　　的】
日本遺産関連イベントにおける炭鉄港のPR

【事業内容】
・日本遺産フェスティバルや「日本遺産の日」イベントにおける関係者旅費や物品購入費等

事業名	炭鉄港カードキャンペーン事業
要望額	250千円（うち文化庁補助金：0円）

【目　　的】
令和３年４月以降に配布開始する第２弾炭鉄港カードについて、期間限定キャンペーン等を実施することにより周遊促進効果を高める。

【事業内容】
・コンプリート者等を対象とした炭鉄港カードキャンペーンの開催

令和３年度　炭鉄港推進協議会　収支予算（案）について

資料6

【収入の部】　（単位：円）

項目	前年度予算	令和３年度予算	増減	備考
負担金	2,400,000	2,400,000	0	
各市町負担金	1,200,000	1,200,000	0	10万円×12市町
北海道負担金	1,200,000	1,200,000	0	
補助金	21,000,000	14,250,000	△ 6,750,000	
文化芸術振興費補助金 （地域文化財総合活用推進事業）	17,000,000	11,000,000	△ 6,000,000	
文化資源活用事業費補助金 （観光拠点整備事業）	4,000,000	3,250,000	△ 750,000	
繰越金	1,463,306	1,551,757	88,451	
令和元年度文化芸術振興費補助金不用額	1,413,000	1,413,000	0	R元年度補助金不用額。文化庁に返金。
令和２年度文化芸術振興費補助金不用額	0	101,571	101,571	R２年度補助金不用額。文化庁に返金。
令和２年度繰越金	50,306	37,186	△ 13,120	
収入の部合計	24,863,306	18,201,757	△ 6,661,549	

【支出の部】　（単位：円）

項目	前年度予算	令和３年度予算	増減	備考
事業予算	22,680,000	15,930,000	△ 6,750,000	
ガイド養成・人材育成	3,500,000	2,300,000	△ 1,200,000	・ガイド養成 ・地域を思ふヒトづくり
普及啓発	6,000,000	4,630,000	△ 1,370,000	・次世代伝承 ・「地域のお宝」活用促進 ・日本遺産相互連携 ・炭鉄港カードキャンペーン
調査研究・コンテンツ制作	13,180,000	4,000,000	△ 9,180,000	・ツアー・コンテンツ造成
情報発信	0	5,000,000	5,000,000	・小樽を拠点とした情報発信 ・ポータルサイト
負担金	20,000	20,660	660	
日本遺産連盟負担金	20,000	20,660	660	負担金20,000＋振込手数料660円
事務費	2,163,306	2,251,097	87,791	
文化庁主催事業参加旅費	600,000	320,000	△ 280,000	日本遺産フェス等（一部補助対象外）
その他旅費	70,000	70,000	0	文化庁ヒアリング等（補助対象外）
消耗品費	40,000	40,000	0	
通信料・手数料等	40,000	100,000	60,000	契約に係る印紙代、懇親会参加費、イベントに係る送料　等
予備費	306	206,526	206,220	
令和元年度文化芸術振興費補助金に係る返還金	1,413,000	1,413,000	0	R元年度文化芸術振興費補助金に係る返還金。文化庁からの補助金返還決定通知が未着のため、R３年度に繰り越し。
令和２年度文化芸術振興費補助金に係る返還金	0	101,571	101,571	R２年度文化芸術振興費補助金に係る返還金。文化庁からの補助金返還決定通知が未着のため、R３年度に繰り越し。
支出の部合計	24,863,306	18,201,757	△ 6,661,549	

資料７

令和３年度炭鉄港推進協議会負担金について

１　負担金額

（１）市町　１０万円 × １２市町 ＝ １２０万円

（２）北海道　１２０万円

２　負担金の請求時期について

各市町に対し、協議会長名で請求書を発出する。

支払期限は、原則６月１日（火）まで。

※納期までの支払いが困難な場合は別途相談。

３　その他

・令和３年度負担金については令和２年度第３回協議会・幹事会で議決したとおり。

・**令和４年度以降の負担金取扱いについては、今後の協議会体制の在り方を含めて令和３年度中に検討。**